

平成19年度事業報告

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

団塊の世代が引退過程に入り、高齢者の就業意欲の多様化に対応したシルバー人材センターの役割がますます重要になってくることから、政府の「再チャレンジ支援総合プラン」に基づき、「シルバー人材センター事業活性化計画」を策定し、会員数や就業機会の拡大等を目指し取組んだ。しかしながら雇用延長によるシルバー人材センターへの新たな労働力の減少や原材料価格の高騰により景気にかげりが出てきたこと等により、暫定集計値ではあるが、会員数(平成20年3月31日現在)は、前年度比1.1%減の22,138人、契約金額は前年度比1.7%減の116億5百万円となった。

連合会の事業については、普及啓発事業として、全センター協調による年間を通じた広報活動を展開するとともに、新聞広告等マスコミを活用した広報を実施した。更に会員の安全・適正就業に対する意識の啓発、シルバー事業の円滑な推進を図るための研修の実施、民間事業所や行政機関に対する積極的な就業開拓等により就業機会の拡大を図るなど積極的な事業推進に努めた。

また、国からの委託事業であるシニアワークプログラム地域事業は、企画競争の導入や講習内容・講習対象者などについて制度改革が行われたが、各活動拠点の協力により各種技能講習を実施し、高年齢者の雇用・就業機会の拡大に寄与することができた。

連合会の財政については、市町村合併に伴うセンター数の減少、シニアワークプログラム受託費の大幅な減少により厳しさが増す中で、国・県に対する陳情の強化などに積極的に取り組んだ。

以下、平成19年度事業の概要は、次のとおりである。

事業実施状況

1 会議の開催

連合会の運営や各センターに係る諸問題を審議し事業を推進するため、次のとおり会議等を開催した。

(1) 総会

月 日	場 所	種 別	事 項
平成19年 6月18日 (月)	静岡労政会館	第22回 通常総会 (出席者112名)	1 議決事項 (1) 平成18年度事業報告 (2) 平成18年度収支決算 (3) 平成19年度収支補正予算 (4) 役員の変更 2 その他 (1) 役職員研修会 講演「人の価値観は様々! タイプ別のクレーム対応と 心地よさを伝える接し方」 講師 (株)はあもにい代表取締役 大野 晴己 氏
平成20年 3月21日 (金)	静岡労政会館	第23回 通常総会 (出席者110名)	1 議決事項 (1) 会費規程の一部改正 (2) 平成20年度事業計画 (3) 平成20年度収支予算 (4) 平成19年度収支補正予算 (5) 辞任に伴う役員を選任 2 その他 (1) 役職員研修会 講演「お茶と健康」 講師 静岡英和学院大学短期大学部 非常勤講師 藤森 進 氏

- (2) 理 事 会
- (3) 監事監査
- (4) 正副会長会議
- (5) 正副会長による陳情等
- (6) 代表者会議等
- (7) 事務局長会議等
- (8) 委員会及び専門小委員会

2 普及啓発事業

シルバー人材センター事業に対する県民の理解を深め、協力を広げるとともに、シルバー人材センターの会員の増強、就業機会の拡大を目指し普及啓発活動を行った。

(1) 普及啓発委員会の開催 2回

(2) 普及啓発委員会介護福祉部会の開催 2回

介護福祉部会は普及啓発委員会の下部組織として平成16年4月1日に設置され活動してきたが、福祉・家事援助事業が拡大してきたことから、平成20年度からは福祉・家事援助委員会として独立させることとした。

(3) 会報の発行（3回） 84,000部

平成19年度及び平成20年度の主要事業、経験交流大会、研修会での講演、活性化計画、シルバー講習会等を内容とするシルバー人材センター会員向けの会報を作成し会員等に配付した。

(4) 月刊「シルバー人材センター」の配布 毎月 55冊

全シ協が発行する同誌を、任意センター並びに賛助会員である市町に配布した。

(5) 会員の拡大や企業・行政機関からの就業機会の拡大のため、パンフレットを作成配布した。

ア 仕事のご案内 20,000部

イ 入会のご案内 20,000部

(6) 新聞によるPRの実施 静岡新聞・中日新聞 延べ11回

(7) 平成19年10月5日の経験交流大会当日、新聞広告とともに通常のラジオ番組の中にシルバー人材センターの情報を組み込んで流すという「ラジオジャック」を展開した。

(8) 全センター協調による継続的な広報活動

全センターが協力して年間を通し切れ目のない広報を実施することにより、県民のシルバー人材センターに対する理解を深めることを目的に、それぞれのセンターが広報活動を実施した。

(9) マスコミへの情報提供（資料配布 5回）

総会、経験交流大会、各種事業の実績について、県政記者クラブへ資料提供、状況の説明、取材協力を行い、記事の掲載及び放送による広報に努めた。

(10) 福祉・家事援助担当者会議の開催

福祉・家事援助事業の推進と担当者の交流を図るため、東・中・西部の各ブロックで福祉・家事援助担当者会議を開催し、48名が参加した。

3 就業開拓推進事業

シルバー人材センターに対する発注の拡大など就業開拓を目指して各種の事業を実施した。

(1) 就業開拓委員会の開催 2回

(2) 広域事業の連合会一括契約

県の計量器定期検査補助業務について、関係センターの委託を受けて、連合会が(社)静岡県計量協会と一括契約した。

対象 12市町(12シルバー人材センター) 就業日数 101日

(3) 就業開拓用品の作成・配布

主として民間事業所に対する就業開拓に役立てるため、就業開拓促進用品として名入れタオル10,000本を作成・配布した。

(4) 県営都市公園外部評価アンケート調査の実施

県営都市公園利用者の満足度を調査し、外部評価の基礎資料とするため、県から委託されたセンターが行う調査事業に側面的支援をした。

調査公園 県営都市公園 6公園

調査センター 6シルバー人材センター

調査時期 平成19年9月～11月

4 交流研修事業

シルバー人材センターの役職員及び会員の事業に対する相互理解、資質の向上を目的として、経験交流大会及び各種研修会を開催した。

(1) 交流研修委員会の開催 4回

(2) 経験交流大会の開催

ア 開催日 平成19年10月5日(金)

イ 場所 裾野市民文化センター

ウ 参加者 1,120名

エ 内 容

① 記念講演

演 題 「年をとるということ」

講 師 山口 建 氏 (静岡県立静岡がんセンター総長)

② 事業活動事例発表 (2センター)

・「互助会活動における自主事業の取組みについて」

(社) 小山町シルバー人材センター

広報部会長 田代 悟 氏

・「ふれあいサロン「なごみ」の活動について」

(社) 島田市シルバー人材センター

ホームヘルパー 東 たち 氏

ホームヘルパー 鈴木 すゝ江 氏

③ サークル活動発表 (8センター)

静岡市、浜松市、三島市、富士市

菊川市、牧之原市、函南町、大井川町

④ センター会員の作成品展示・即売 (参加20センター)

(3) 各種研修会の開催

各種の研修会を開催し、情報交換等を通じ現状の把握と問題解決に向けて取り組んだ。

開催状況は、別紙1のとおり。

(4) 全シ協等が主催する研修会へ出席し、その成果を拠点センターに伝達することにより会員の資質向上を図った。

主な出席状況は、別紙2のとおり。

5 安全・適正就業推進事業

(1) 安全・適正就業推進委員会の開催

2回

(2) 安全・適正就業巡回訪問の実施

安全就業推進委員会委員が、県内3か所のセンターの就業現場を11月～12月に巡回訪問し、作業現場の確認など、安全・適正就業の推進を図った。

(3) 安全・適正就業推進研修会の開催

ア 開催日 平成19年7月10日 (火)

イ 場 所 静岡労政会館

ウ 参加者 151名

エ 内 容

① 基調講演

演 題 「災害ゼロの職場づくり」

講 師 中央労働災害防止協会

関東安全衛生サービスセンター安全管理士

中野 洋一氏

② 事例発表

- ・「安全・適正就業に対する取組みについて」

(社) 沼津市シルバー人材センター

事務局次長 久保田 元治 氏

- ・「18年度の安全諸活動と災害事例」

富士川町シルバー人材センター

副理事長 久松 としゑ 氏

- ・「安全就業の取組みについて」

(社) 浜松市シルバー人材センター

理事 田辺 睦男 氏

(4) 安全就業推進員交流研修会の開催

ア 開催日 平成20年1月24日(木)

イ 場 所 静岡労政会館

ウ 参加者 71名

エ 内 容

① 基調講演

演 題 「労働災害の現状と主要な防止対策」

講 師 静岡労働局労働基準部

安全衛生課長 須藤 誠一 氏

② 事例発表

- ・「安全就業に対する取組みについて」

(社) 熱海市シルバー人材センター

安全委員会委員 日吉 通夫 氏

- ・「安全委員会での事故発生時の内容把握と対策及び会員への早い伝達」

吉田町シルバー人材センター

安全就業対策委員長 倉持 修治 氏

- ・「安全就業への取組みについて」

(社) 菊川市シルバー人材センター

安全委員会委員長 沢崎 敢 氏

6 調査研究事業

シルバー人材センター事業の推進に資するため、次のとおり調査を実施し資料を提供した。

- (1) 調査研究委員会の開催 4回
- (2) シルバー人材センター概要
- (3) シルバー人材センター互助会組織に関する調査

7 無料職業紹介事業

無料職業紹介事業は、平成19年1月に9センターで開始したが、平成19年度に沼津市、富士宮市、大井川町、袋井・森地域、湖西市の5センターが加わった。

8 指導相談事業

- (1) (社) 全国シルバー人材センター事業協会の個別指導に同行し、必要な助言を行った。

- ・対象シルバー人材センター（6センター）

熱海市、伊東市、伊豆市、島田市、大井川町、湖西市

- (2) 県が行う法人団体及び任意団体の調査に同行、立会いをするとともに、各シルバー人材センターの担当者に必要な助言を行った。

- ・対象法人団体シルバー人材センター（14センター）

沼津市、熱海市、富士宮市、三島市、伊豆市、伊豆の国市、
函南町、長泉町、清水町、静岡市、藤枝市、磐田市、湖西市、
新居町

- ・対象任意団体シルバー人材センター（4センター）

下田市、富士川町、吉田町、御前崎市

9 ブロック関係事業の推進

県内シルバー人材センターの東部・中部・西部の各ブロック毎に事務局長会議を置き、各種研究会を開催し、ブロック内各センターの情報交換等を促進した。

開催状況は、別紙3のとおり。

10 シニアワークプログラム地域事業

静岡労働局の委託を受けて、高齢者の雇用・就業を促進するシニアワークプログラム地域事業を実施した。

(1) 普及啓発（一部再掲）

ア 「県シ連だより」の発行			3回
イ ラジオジャック			1回
ウ 新聞広告			延べ11回
エ 技能講習用案内パンフレット作成・配布	3回		各20,000部
オ 商工団体機関誌への案内掲載			延べ17回
カ 月刊シルバーの配布			毎月 55冊
キ 全センター協調による継続的な広報の実施			
ク 県等関係機関の協力を得た広報活動			

(2) 技能講習

ア 長期 7職種 34回 受講者 555人

(講習内訳等)

① 2級ヘルパー	15回	受講者	253人
② 造園緑化サービス	7回	受講者	123人
③ 普通自動車2種免許取得コース	5回	受講者	73人
④ 会計補助	4回	受講者	67人
⑤ 子育て支援	1回	受講者	16人
⑥ マンション管理	1回	受講者	14人
⑦ 筆耕講習	1回	受講者	9人

イ 短期 14職種 89回 受講者 1,613人

(講習内訳等)

① 庭園サービス	20回	受講者	410人
② 表具サービス	14回	受講者	198人
③ ビジネスパソコンワード	10回	受講者	196人
④ ビジネスパソコンエクセル	10回	受講者	195人
⑤ 家事援助	8回	受講者	163人
⑥ 農業支援	6回	受講者	115人
⑦ 子育て支援	5回	受講者	96人
⑧ フォークリフト	4回	受講者	60人
⑨ 筆耕講習	3回	受講者	54人
⑩ クロス貼り	3回	受講者	37人
⑪ 塗装サービス	3回	受講者	30人
⑫ パソコンアシスタントワード	1回	受講者	21人
⑬ パソコンアシスタントエクセル	1回	受講者	21人
⑭ 建築塗装	1回	受講者	17人

(3) 合同面接会等による職業紹介 7回

造園緑化	静岡市、富士市、藤枝市、大井川町
2級ヘルパー	湖西市
普通自動車2種	掛川市
ハローワークとの合同面接会	浜松市

(4) 県下全ハローワーク訪問 (7月24日～8月3日) 18ハローワーク

静岡労働局高齢者対策担当官の同行を依頼し訪問。各ハローワークの所長、担当官等と面談し、SP事業のPR及び協力を依頼した。本連合会から、局長、次長、SP担当者が出席。

11 「シルバー人材センター事業活性化計画」の策定

政府の「再チャレンジ支援総合プラン」に基づき、2010年度末にシルバー人材センターの会員数を30%拡大する等の内容を含んだ「シルバー人材センター事業活性化計画」を連合会及び各拠点で策定し、目標実現にむ

けた各種の施策を実施した。

12 統合問題研究委員会の設置

市町村合併に伴うシルバー人材センターの統合に関する諸問題を研究するため、平成19年10月1日統合問題研究委員会を設置した。2回委員会を開催し、鳥田市と川根町の統合に伴う平成20年度の暫定的な会費等について検討した。

13 特定公益増進法人制度の運営

寄付金の受入：寄付者 27人（9センター） 合計金額 382千円

14 その他

東海シルバー人材センター連絡協議会通常総会及び経験交流大会に参加した。

開催日 平成19年6月14日（木）

場 所 三重県志摩市「賢島宝生苑」

参加者 195人（うち静岡県42人）